

第5章 県民の自主的活動の促進

第1節 環境教育・学習の推進

1 環境教育・学習の必要性

今日の複雑・多様化している環境問題に対処し、持続可能なライフスタイルや経済社会システムを実現するためには、県民一人ひとりが生活と環境との関わりについて理解と認識を深めるとともに、環境保全活動に参加する態度及び環境問題解決に資する能力が育成されることが重要です。

このため、幼児から高齢者までの各年齢層や家庭、学校、職場、地域などの様々な場に応じた環境教育や県民の自主的な環境学習を総合的に推進する必要があります。

2 学校における環境教育の推進

各学校では、環境についての理解と認識を深め、環境に配慮した生活や責任ある行動がとれる態度の育成を目指して、各教科等や総合的な学習の時間の教育活動の中で、様々な環境問題を取り上げて環境教育に取り組んでいます。また、身近で具体的な事象を通して学ぶために、学校内外の美化活動、ゴミの分別、リサイクル活動などにも取り組んでいます。

平成9年度からは、環境教育を幅広く推進するために、環境教育推進事業をスタートさせ、小学校2校、中学校2校、県立学校1校の計5校を推進校として2年間の指定を行ってきています。推進校では、地域の実態や児童生徒の発達段階に応じて全教育活動を通して環境教育に取り組み、心の教育の充実という観点からもかなりの成果を上げています。

平成14年度末には、平成13・14年度推進校における取組や成果を「研究成果報告書」としてまとめ、県内全公立学校に配付してその成果を紹介し、環境教育の啓発に努めます。

平成15年度からは、新たに5校を推進校として指定します。

表2-5-1 環境教育推進事業推進校

指定年度	小学校	中学校	県立学校
9～10年度	小林市立西小林小学校	国富町立八代中学校	宮崎県立宮崎海洋高等学校
	門川町立五十鈴小学校	高千穂町立上野中学校	
11～12年度	宮崎市立西池小学校	串間市立本城中学校	宮崎県立日南振徳商業高等学校
	高鍋町立高鍋西小学校	高崎町立高崎中学校	
13～14年度	三股町立勝岡小学校	小林市立永久津中学校	宮崎県立都城工業高等学校
	高千穂町立押方小学校	北郷村立北郷中学校	

3 環境にやさしい学校づくり推進事業

県内の高等学校において、ISO14001の仕組みを簡略化した「学校版環境マネジメントシステム」を策定し、自らが実践活動を行うことにより、若い世代への環境教育を進めることを目的に、平成13年度から「環境にやさしい学校づくり推進事業」を実施しています。

これは、校内での環境保全に向けた方針や目標を定め、職員や生徒が一体となってエコスクール活動や環境学習などの実践活動を行いながら、定期的に自己点検し、目標の達成を目指すものです。

平成13年度は、県立本庄高等学校、県立日南振徳商業高等学校、県立都城工業高等学校の3校で実施されました。

4 研修会等の開催

地域における環境保全活動の推進を図るため、平成13年度は廃棄物減量化リーダー育成研修(3回)を実施し、また、地球温暖化防止セミナー(1回)を実施しました。

5 環境保全アドバイザーの派遣

地域における環境学習を支援するため、平成5年度から、地域で開催される環境保全に関する学習会、講演会等に対して環境保全に関する専門的知識を有した「環境保全アドバイザー」を派遣しています。

平成13年度は、地域の学習会等に計51回派遣しました。

6 こどもエコクラブ・こども地球探偵団事業

次世代を担う子供たちが、地域において仲間と一緒に自主的に環境学習及び環境保全活動に取り組み、将来にわたる環境保全への高い意識を醸成することを支援するために、平成7年度から環境省において、小中学校生を対象に「こどもエコクラブ」事業が実施されています。平成13年度において、本県では29クラブ結成され、434人が参加しました。

また、こどもエコクラブをはじめとする小中学生が行う地域での環境学習活動を支援するため、各保健所において夏休み期間を中心に環境教室(こども地球探偵団事業)を表2-5-2のとおり実施し、さらに、平成13年度から各探偵団・クラブによる活動発表会(こども地球探偵団交流会)も実施しました。

表 2 - 5 - 2 こども地球探偵団事業の実施状況（平成13年度）

主催者等	内 容	参加クラブ等
日南保健所	王子製紙日南工場での環境学習・体験及び施設見学（森と紙のリサイクル）、水生生物調査	南郷町くろしお探検隊、南郷町立南郷小学校； 計57名
都城保健所	下水処理施設・リサイクル施設等の見学、水や大気についての実験	三股町立勝岡小学校； 計18名
小林保健所	水生生物調査による水質評価実習、環境保全アドバイザーによる講演会（廃油からの石鹸づくり）	えびの市立真幸小学校； 計200名
高鍋保健所	環境教室、水生生物・水質調査	小丸川探検隊（高鍋東小学校）； 計34名
日向保健所	水生生物調査、リバーウォッチング、河川のごみ調査	自然を学ぼう百済っ子（南郷村立神門小学校、鬼神野小学校）； 計31名
延岡保健所	夏休み環境教室（大気、酸性雨、地球温暖化等に関する実験、犬のしつけ方教室）	延岡市立南方小学校、社会福祉法人ゆりかご児童館 計47名
高千穂保健所	水生生物調査による水質調査、水質検査（パックテスト）、手作り装置によるろ過実験、水の話	日之影町立小原小学校、高千穂町立岩戸小学校、五ヶ瀬町立坂本小学校； 計81名
こども地球探偵団交流会	各探偵団（クラブ）による活動発表会、ネイチャーゲームの実施（於：県工業技術センター、西都原古墳公園）	南郷町立南郷小学校ほか県内6小学校9クラブ参加 計149名
		計617名

7 全国星空継続観察（スターウォッチング・ネットワーク）

昭和62年度に実施されたスターウォッチング「星空の街」コンテスト（環境庁主催）を契機に、昭和63年度から「全国星空継続観察（スターウォッチング・ネットワーク）」が実施されることとなりました。

これは、大気の果たしている大切な役割についての認識を養い、その保全の必要性についてより関心を深めていくために広く国民に参加を求め全国一斉に実施するもので、夏期と冬期の2回実施されています。

観察方法は、目視による天の川の観察、双眼鏡によること座の織姫星（ベガ）を含む3つの星の作る三角形の中の星（夏期）又はすばる（プレアデス星団）のラケットの中の星（冬期）の観察、星空のカラーズライド写真の撮影となっています。

各参加団体の観察結果は、表2 - 5 - 3のとおりです。

また、スターウォッチングネットワークへのこれまでの参加状況等は表2 - 5 - 4のとおりです。

表 2 - 5 - 3 平成13年度の観察結果

市 町 村	夏 期				冬 期			
	実施日	天候	参加者数	平均観察等級	実施日	天候	参加者数	平均観察等級
宮 崎 市	8月 22日	晴	6 人	9.2	1月 5日	快晴	6 人	8.6
小 林 市	8月 22日	晴	3 人	8.9	1月 11日	晴	3 人	8.6
西 都 市	8月 22日	晴	1 人	8.6	1月 17日	晴	4 人	9.2
高 崎 町	8月 15日	晴	36 人	10.2	1月 12日	晴	23 人	9.5
高千穂町	8月 22日	曇	7 人	-	1月 9日	晴	9 人	9.8

(注) 1 実施日は、2回以上実施したところについては、代表的な1日のみ掲げました。

2 参加者数は、観察記録を残していない参加者も含めた延べ人数です。

表 2 - 5 - 4 県内からの参加状況

参加団体(観察場所)	7		8		9		10		11		12		13	
	夏	冬	夏	冬	夏	冬	夏	冬	夏	冬	夏	冬	夏	冬
椿山スターウォッチング研究会(椿山公園)														
宮崎県天文協会(宮崎科学技術館)														
宮崎商業高校理科研究同好会														
アイと星を見る会(サマツ日南)									-	-	-	-		
小林市(北きりしまコスモドーム)	-										-			
小林高校天文部														
えびの高原 星空愛好会												-		
茶臼原星を見る会(アグリ広場他)														
高崎星をみる会(たちばな天文台)														
綾 町(綾中学校)			-	-					-	-	-			
都農町(都農ワイナリー)				-										
北郷村(中小屋天文台昂ドーム)	-	-												
北川町教育会理科部会			-	-										
南郷村(鬼神野小学校)									-		-			
高千穂町星を見る会 六連星			-						-		-			
五ヶ瀬中・高等学校(学校敷地)														
参 加 団 体 数	5	7	4	4	4	6	5	6	5	7	5	6	6	7

(注) 印 : 参加

- 印 : 参加予定したが、都合で実施できず

中の数字: 平均観察等級の全国順位(平成5年度から夜空の明るさを基本とした総合的な評価による順位に変更。なお、平成10年度から順位付け中止)

8 「こども葉っぱ判定士」事業

小中学生を対象として、身近にある樹木の二酸化炭素の吸収量を調べ、地球環境を守る樹木の働き及びその大切さについて学ぶことを通じ、大気環境保全や地球温暖化防止への関心を高めることを目的に、平成10年度以降環境省が実施しています。期限までに調査結果の報告を行った小中学生には、環境大臣から「こども葉っぱ判定士」の課程を修了したことを認める認定証が発行されます。平成13年度は、本県からはこどもエコクラブ会員等を中心に52名の参加がありました(表2-5-5)。

表 2 - 5 - 5 県内の参加状況

	学校名又は参加団体名	所在地	学年	参加人数
小学校	宮崎市立倉岡小学校 白藤文化財愛護少年団倉岡エコクラブ	宮崎市	5	23
	高原町立高原小学校	西諸県郡高原町	3	2
	〃	〃	5	2
	西都市立妻南小学校 南ッ子エコクラブ	西都市	5	1
中学校	国富町立本城中学校	東諸県郡国富町	3	23
	北川町立瀬口中学校	東臼杵郡北川町	3	1

木には、たくさんの葉っぱがあり、その1枚1枚が大気中の汚染ガスを吸収して空気をきれいにしたり、二酸化炭素を吸収して地球温暖化を防いだりする働きをしています。こうした葉っぱの働きを目で見ることはできませんが、「こども葉っぱ判定土」事業パンフレットの手順に従って記入欄に数字を入れていくことによって、葉っぱが吸収する汚染ガスの量、二酸化炭素の量について調べることができます。家や学校の庭に生えている木から、私たちの地球を守る木の働きについて調べる内容になっています。

第2節 環境情報の提供及び普及啓発

1 環境情報センターの運営

県では、自然や生活環境問題に関する知識・情報の普及や各種団体等の活動を支援するため、平成3年8月に宮崎県環境情報センターを設置し、環境に関する情報の収集・提供、啓発パンフレットの作成・配布、ラジオ放送による啓発、図書やビデオの閲覧・視聴・貸出などを行うとともに、環境保全アドバイザーの紹介・あっせんを行っています。

また、インターネットに接続するとともに、センターのホームページも開設し、利用者の拡大と利便性の向上を図っています。

なお、平成13年度のセンター利用者数は、13,965人でした。

所在地： 宮崎市錦町1-8 JR宮崎駅ビルフレスタ内

(平成15年7月にアゲインビル2Fに移転予定)

TEL：0985-23-0322 FAX：0985-26-4720

<http://www.miyazaki-nw.or.jp/aes/center/info/index.html>

E-mail：kanjyo@miyazaki-nw.or.jp

2 環境の日及び環境月間行事の実施

我が国では、1972年6月にストックホルムで開催された国連人間環境会議を記念して、毎年6月5日からの1週間を「環境週間（昭和48年度～平成2年度）」と定め、また、平成3年度からは6月を「環境月間」として設定し、国、地方公共団体、民間団体等により全国規模での各種普及啓発事業が実施されています。さらに、平成5年11月に制定された環境基本法で、事業者及び国民の間に広く環境保全についての関心を高めるとともに、積極的に環境の保全に関する活動を行う意欲を高めるため、6月5日が「環境の日」と定められました。

平成13年度の環境の日及び環境月間に、県が実施した主な行事は表2-5-6のとおりです。

表2-5-6 環境の日及び環境月間に県が実施した主な行事（平成13年度）

行 事 名	概 要	参加(対象) 人 数 等	期 間
環境の日キャンペーン	街頭で環境保全を訴え、啓発用チラシ、エコバッグ（買い物袋）等を配布	県内8か所	6月5日
ノーカーデー	県職員の自動車による通勤、出張の自粛	県庁職員	6月5日
環境・公害総点検運動	工場・事業場等へ公害総点検の運動の実施を依頼	175事業場	6月1日 ～30日
公害担当者講習会	県及び市町村の公害担当者を対象とした講習会等を実施	県内全市町村	6月7日
環境月間に関する広報	県広報誌による環境月間の意識啓発	県内全世帯配布	6月号
〃	懸垂幕による環境月間の意識啓発	県庁舎	6月1日 ～30日

3 「環境ひむか」の発行

環境に関する施策や話題、県内の環境保全の取組などを紹介した環境情報誌「環境ひむか」を定期的（年4回、各8,000部）に発行しています。

また、夏号については、子ども向けに再編集し、県内の小学生4年～6年生全員（45,000部）に配布しました。

4 環境にやさしい暮らしの啓発事業の実施

県民の環境保全に対する意識を高め、環境保全活動の一層の普及を図るため、ラジオ番組を活用した環境にやさしい暮らしの啓発事業を実施しています。

平成13年度は、毎週金曜日に5分間枠の番組として「こちら環境情報センター」を設け、環境に関する各種のテーマを取り上げ、年間48回放送しました。

5 県民総ぐるみ運動「クリーンアップ宮崎」の実施

環境問題に対する県民意識の高揚を図るとともに、美しい郷土づくりを推進するため、各自治体、各種団体等をはじめとした県民総ぐるみの環境美化活動を実施しました。

期日・場所	内 容	参加市町村・人員等
11月11日(日) 県内全域	公園、緑地、水辺等の公共の場の清掃及び樹木、草花の植栽並びに居住地周辺の清掃等	42市町村 約22万人

6 地域環境保全功労者表彰(県知事表彰)

地域の環境保全に関し、特に顕著な功労のあった個人5名及び団体5者を表彰しました。

個 人	団 体
上野 貞道氏 (都城市)	石並長寿会 (日向市)
小川 保雄氏 (延岡市)	大 楠 会 (清武町)
辻 昭裕氏 (延岡市)	北伊倉自治公民館 (佐土原町)
田平 文夫氏 (日向市)	田尻高齢者クラブ (国富町)
石井 正敏氏 (高鍋町)	都農町老人クラブ連合会 (都農町)

7 その他の普及啓発

環境保全に対する県民の理解を得るとともに、県民、事業者、行政の一体となった取組を進めるため、次のとおり啓発イベントを実施しました。

期日・場所	内 容	参加人員
平成13年6月28日(木) 宮崎観光ホテル(宮崎市) *主催:ひむかのくに環境保全推進県民会議	環境保全推進県民大会 ・事例発表 発表者:宮崎松下電器株式会社環境保全部 松山 圭一課長 テーマ:「宮崎松下電器株式会社における環境保全活動について」 ・講演 講師:加倉井 弘氏(NHK解説委員) 演 題:「食と農と地球環境」	約300人